

四国支部総会@雲の上の図書館



開催おめでとうございます

2022年9月3日（土）

目黒会 会長 森 淳

目次

- 自己紹介
- 会長就任にあたっての抱負・思い
- 2022年度 目黒会活動方針
- 2022年度 目黒会組織図
- 2022年度 目黒会役員一覧
- 2022年度 委員会の委員長と課題
- 特記事項 同窓会ラウンジ
- 同窓会ラウンジへ投稿のお願い
- 四国支部337名のメール関連データ

自己紹介 (森 淳 モリ アツシ)

年 月	できごと	備考
1967年4月	電気通信大学通信工学科入学 目黒会事務局で 学生アルバイト （2年間）	塩田事務局長 重山専務理事
1971年4月	OKI入社 NTT通研（電子交換機開発）、ソフトウェア技術部長、市場開発部長、本社総合企画室（主幹4年）、広報部長（PR・IR6年）、G会社専務取締役（3年）、常勤監査役（3年）など歴任	
2010年6月	OKI退職	
2010年11月	目黒会就職委員会委員就任	安田会長
2012年6月	社団法人目黒会理事就任	
	目黒会事務局に入局	江尻事務局長
2013年4月	目黒会が一般社団法人に移行、代議員に選出（2013.4～2014.6）	中谷副事務局長
2014年6月	副事務局長に就任	野々村会長
2015年5月	事務局長に就任 （2018年12月大学創立100周年に向けては超多忙）	
2022年6月	代表理事（会長）就任、事務局長退任	

会長就任にあたっての抱負・思い

1. コロナ禍で中止になった各種イベントの再開にトライ（直近目標）

- ・ 支部総会の対面方式再開を支援（リアル参加、メール発信、返信ハガキ）
- ・ ホームカミングデー、支部長会、グループ代表者会などの再開

2. 会員間の交流を活性化（中期目標）

- ・ 新交流サイト「同窓会ラウンジ」を広く活用し会員サービスを拡大

3. 同窓会の在り方について思う事（最近の私見）

- ・ 世代を越えて、それぞれの事情で生活している「ひとたち」が存在出来る場所。
- ・ 異なる価値観の存在を認め合える空気・場が必要。在り方は一つでは無い。
- ・ 無理をしない自然の流れを必然とみたい。集合的無意識ネットワークの把握。
- ・ 運営にかかわるすべての人のモチベーションをアップしたい。次期人材の育成。

2022年度 目黒会活動方針

1. 大学と同窓会の連携強化による同窓生へのサービス拡大

- ・ 大学連携担当委員（理事・事務局）の設置
- ・ 大学の同窓生関係部署と目黒会理事との定期的連絡会
- ・ 大学広報活動の支援（魅力ある大学作りに貢献）

2. 現役学生への支援活動の強化

- ・ 企業研究展示会の実施
- ・ 国際研究発表支援(発表学会参加費の支援)
- ・ 国内外で活躍する同窓生の実績や研究活動などの紹介やセミナー実施

3. 同窓生の活動の活性化、同窓会メリットのPR

- ・ オンサイトやオンラインでの支部総会、懇親会等
- ・ 電通大の同窓生として自信と誇りを持つための支援
- ・ 新入学生と保護者への目黒会活動及びメリットのPR

4. 情報提供活動の強化

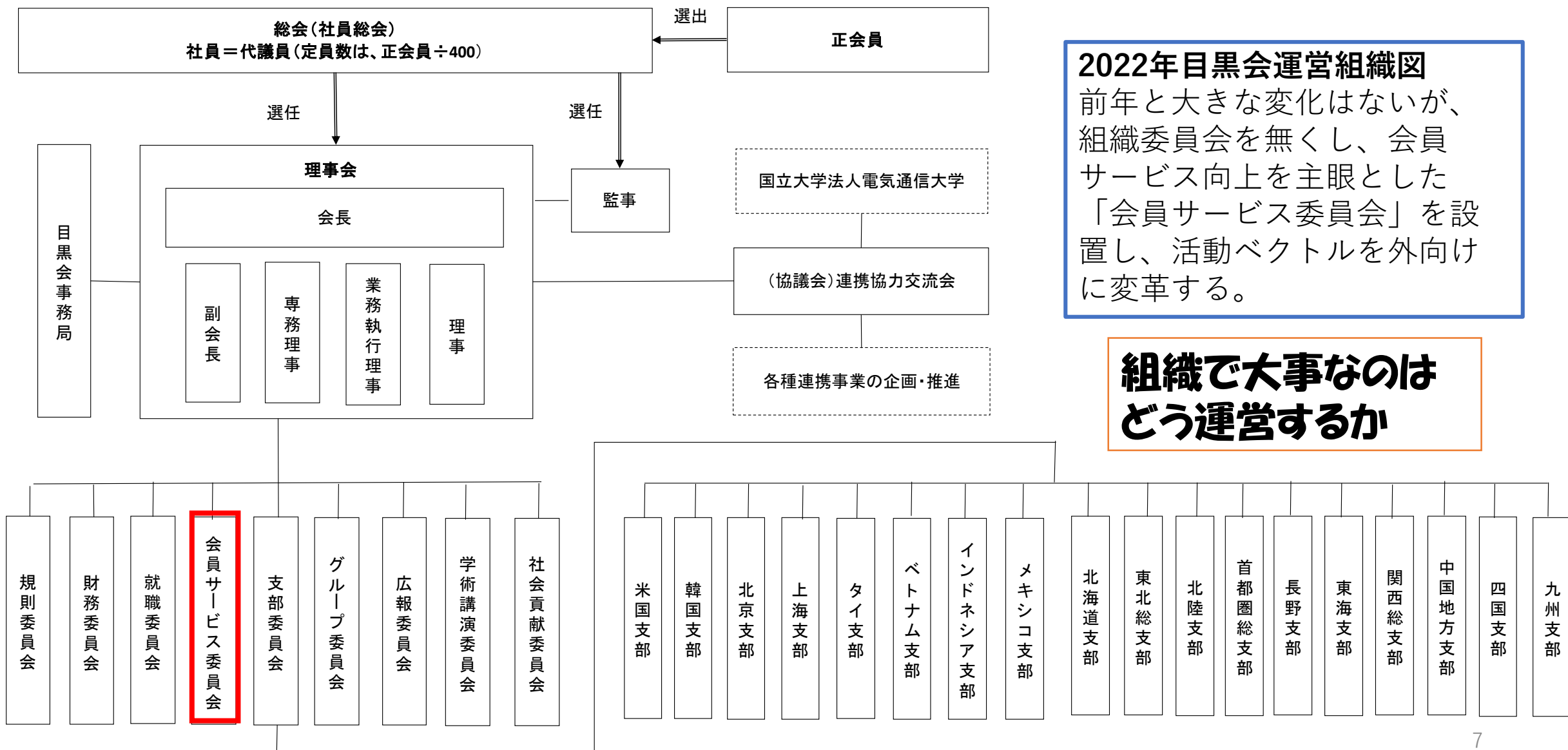
- ・ 会報誌及びホームページへの同窓生参加の拡大
- ・ オンラインコンテンツの充実（同窓会ラウンジ新設）

5. 委員会及び執行部の強化

- ・ 委員会体制の見直し及び事務局との連携強化による更なる執行部の活性化

一般社団法人目黒会 組織図

2022年6月8日現在



2022年目黒会運営組織図
 前年と大きな変化はないが、組織委員会を無くし、会員サービス向上を主眼とした「会員サービス委員会」を設置し、活動ベクトルを外向けに変革する。

**組織で大事なものは
 どう運営するか**

2022年度 目黒会役員（理事・監事・事務局長）一覽

役職名	氏名(青字:新)	入学学科
会長	森 淳	通信工学科
副会長	高橋 真之	通信工学科
副会長	中村 憲一	機械制御学科
専務理事	水戸 和幸	電子情報学科
業務執行理事	帯金(オビカネ)幹夫	物理工学科
業務執行理事	竹田 智彦	電子工学科
業務執行理事	古川 浩規	情報工学科

役職名	氏名	入学学科
理事	上田 敏樹	電子計算機学科
理事	宝槻(ホウツキ) 稔	電子工学科
理事	小柳 洋	機械工学科
理事	陳 肇文 (チン・ショウブン)	応用電子工学科
理事	中里 明子	機械工学第二学科
理事	青木 実	通信工学科
理事	島崎 俊介	情報通信工学科
監事	三木 哲也	電波工学科
監事	芳賀 克己	電子工学科
事務局長	松島 幸治	通信工学科

業務執行理事以上が
委員会委員長となり運営

2022年度 委員会の委員長と課題 (1/2)

委員会	委員長	課題
規則委員会	古川 浩規	2022年4月の改正個人情報保護法に基づく目黒会関連規程の見直し。
財務委員会	水戸 和幸	予実管理の徹底とホームカミングデー開催などイベント再開必要に応じた補正予算の策定。
就職委員会	中村 憲一	2023年3月の企業研究展示会の参加企業数増加と5月度の展示会再開を図る。
会員サービス委員会	帯金 幹夫	同窓会の価値向上につながる会員サービスの実現推進。(大学との合同WGや同窓会サロンの声を生かしたサービス作り)
支部委員会	森 淳	支部総会参加者増加策の支援内容検討(対面方式実現への支援)。コロナ禍における海外支部との交流方法検討
グループ委員会	古川 浩規	「研究室グループ会」参加数の増加(14/76⇒+10?)。グループ会開催通知、開催結果の「同窓会ラウンジ」サイトへの投稿を促進する
広報委員会	高橋 真之	同窓会ラウンジとの関係を考慮した会報誌記事構成の検討(リアルタイムVSアーカイブ)。会報誌の役割再検討と会員への送付基準見直し

2022年度 委員会の委員長と課題 (2/2)

委員会	委員長	課題
学術講演委員会	竹田 智彦	STF 講演会の参加率増加。次年度に向けた魅力あるテーマ選定。
社会貢献委員会	水戸 和幸	発明クラブ、工作教室、おもちゃの病院などのコロナ禍における開催実施に向けた支援策を強化。
選挙管理委員会	菅谷 寿鴻	2023年度代議員選挙の実施。(2022年7月～12月)
大学連携WG	森 淳	大学と目黒会の共通課題の解決。「月例会」として大学との連絡交流会の促進。
同窓会賞(大学共同)	高橋 真之	2022年度受賞者対応(記念講演会の実施)。2023年度受賞者選定。
UEC基金(大学共同)	中村 憲一	大学UEC基金への協力と基金委員会への出席。
ホームカミングデー (大学共同)	竹田 智彦	ホームカミングデー開催時の実施体制の構築と「首都圏総支部との連携」による参加者増加。

特記事項

コロナで落ち込んだ会員の相互交流を活性化するため、ホームページに『同窓会ラウンジ』を新設。<https://megurokai.jp/home2/>

生活に役立つ身近な情報や会員の出会いの場を提供
投稿フォームの形式やスマホを意識したデザインや
会員が気軽に「参加」できる仕組みを整えました。

同窓会ラウンジ *Alumni Lounge*



同窓会ラウンジの「得する」「楽しむ」へ投稿のお願い

四国支部のお国自慢はありませんか

- **投稿コンテストも検討（人気投票で順位表彰・賞金??）**
- **地酒** 美丈夫、司牡丹、酔鯨、土佐鶴、金陵
- **グルメ** かつおのたたき（わら焼き）、鯛めし、いかめし
- **名所** 雲の上の図書館（隈研吾氏）、四国カルスト、高知城、金比羅宮
- **海** なるとの渦潮、桂浜海岸（坂本竜馬像）、しまなみ海道、足摺岬
- **温泉** 道後温泉、あしずり温泉、こんぴら温泉郷



道後温泉からくり時計



高知城



亀老山展望公園より
来島海峡大橋を望む



足摺岬灯台

<四国支部 337名のメール関連データ>

2022.8

人口	愛媛県 1385千人		香川県 976千人		徳島県 755千人		高知県 728千人		四国合計 3845千人	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
会員数	116	34%	109	32%	56	17%	56	17%	337	100%
正会員	22	19%	29	27%	10	18%	10	18%	71	21%
普通会員	94	81%	80	73%	46	82%	46	82%	266	79%
メール保有者	25	22%	37	34%	10	18%	11	20%	83	25%
正会員	17	15%	22	20%	4	7%	5	9%	48	14%
普通会員	8	7%	15	14%	6	11%	6	11%	35	10%

<各割合について> 1. 県別会員数は母数を四国全体(337人)とする。 2. 1以外の割合は各県ごとの会員数を母数とする。(斜体表示)

ご静聴ありがとうございました

